

11月19日 上棟式を挙行

平成十五年十一月十九日
(水) 小雨、定刻の午後四時三十分、(株)藤井組松吉純嘉氏の司会により、京都税理士会館新築工事に上棟式が厳粛に挙行された。



神事は新会館二階大会議室に於て、八坂神社の神主により、計七十二名の参列者(施主二十三名・(株)吉村建築事務

- 一、開式の辞
- 一、修 祓
- 一、降神の儀
- 一、献 饌
- 一、祝詞奏上
- 一、四方祓の儀
- 一、上棟の儀
- 一、玉串奉奠
- 一、撤 饌
- 一、昇神の儀
- 一、閉式の辞

所四名・(株)藤井組九名・現場職方三十六名)のもと厳かに行われ、特に、上棟の儀は、上田寛理事長並びに林伸三郎建設委員長が棟木に「お多福」を祀り、また、玉串奉奠では、上田寛理事長・廣瀬來三初代理事長・清水久雄前理事長・市川仁三相談役代表・廣瀬伸彦基本問題検討特別委員長に続き(株)吉村建築事務所事務取締役岡田忠夫氏・(株)藤井組代表取締役藤井正氏が次々と奉奠を行った。

閉式後、神酒にて乾杯を行い、後、なごらい会場へと移動した。

チャリティー寄託

過日開催致しましたVIP君・ランちゃんチャリティーゴルフコンペを含む二回のゴルフコンペと一泊旅行の際にご協力いただきましたチャリティー、また、その他組合員の善意を併せまして、計九〇九、七九九円を、去る十二月五日に作見副理事長と小坂専務理事が京都新聞社を訪れ、(株)京都新聞社会福祉事業団に寄託しました。

紙面をお借りして、善意をお寄せいただいた多数の皆様にお礼申し上げます。

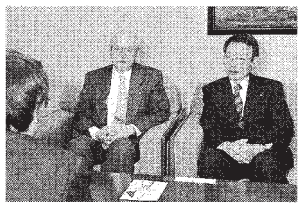
なお、当組合からのチャリティー寄託は二十二回目、総額一四、四九二、八九三円となりました。



京 都 府 庁

2003年(平成15年)12月6日 土曜日

歳末ふれあい資金



90万円を寄託 京都税理士協同組合(上田寛理事長、中京区王生下満町)が90万9709円を寄託した。写真：組合員が参加して開いたチャリティーゴルフコンペや旅行の際に集めた善意などを合わせ、作見副理事長、小坂専務理事が代表して持参した。寄託は22回目、総額1449万2893円となった。

京都市からのお知らせ

- 住民税について
- ◆給与支払報告書の提出について

平成十五年中に支払った給与に係る給与支払報告書の提出期限は平成十六年二月二日です。

受給者の平成十六年一月一日現在の住所の市町村に提出してください。住所が京都市にある方については、京都市役所に提出してください。

- ◆提出先

〒604-0951
京都市中京区寺町通御池下る下本能寺前町五〇〇番地の一中信御池ビル四階
京都市理財局税務部法人税務課特別徴収係

- 償却資産について
- ◆申告書の提出期限・提出先

○平成十六年二月二日(月)

○資産所在の区役所(支所)の固定資産税課(課税課)

- ◆対象資産

土地・家屋以外の事業用資産で、減価償却の対象となるもの。ただし、自動車税及び軽自動車税の課税客体となるものについては除外されます。

- ◆テナントが家屋に付加した資産について

賃貸借契約書等に原状復帰の特約がある場合などは、原則として、テナントの方から償却資産として申告していただくこととなります。

関与先もきつと
待ち望んでいます。

当制度は、関与先にとっても振込の負担や手数が省ける等のメリットがあり、たいへん喜ばれています。ぜひ、ご利用をお勧めください。

便利な制度があるらしいね

No.1の実績

《ご利用税理士数10,847人》
税理士協同組合の
報酬自動支払制度

税理士協同組合 株式会社
事務代行社 日税ビジネスサービス

0120-155-551
http://www.nichizei.com/nbs

1年貯蓄
ワリショー

5年貯蓄
リッシュワイド

- 確定利回り ●1年満期 ●5年満期 ●確定高利回り
- 税率18% ●1万円単位 ●元金安全 ●1万円単位
- 元金安全 ●半年複利

商工中金
京都支店
075(221)3181

〒604-0953 京都市中京区富小路通御池上ル守山町156-3

火遁要慎 愛宕神社

編集委員 間嶋 利行

京都市街より西に高くそびえ立つ山が海拔九二四米の愛宕山。その山頂に鎮座するのが、各地に分祀された八百余社にのぼる愛宕神の総本社で



ある愛宕神社です。

東の比叡山延暦寺が王朝以来王城鎮護の聖地として崇敬を受けてきましたが、西の愛宕山愛宕神社は中世武士階級の人々に勝軍地蔵として尊崇され、他方火伏の神として民間に信仰されてきました。「伊勢には七度、熊野へ三度愛宕さんへは月参り」とうたわれ、全国に愛宕信仰がひろまりました。

愛宕神社では毎年八月一日午前零時に通夜祭が行われますが、このときに詣ると月参りが千日分に値するということで、前日の夕方からは夜を徹して参拝する人々にぎわいます。みなさんも一度や二度



はこの千日詣の山歩き経験をされたかと思えます。

各家庭において朝一番おくどさんで火を燃やす時、月参りで受けてきた檜の葉一枚を火中に投じてその日一日の防火と家内安全を祈る習慣がありました。台所変化に伴って今日では千日詣で授かった「火遁要慎」と書かれたお札を祀るようになりました。年輩の方々は、母が毎朝竈に檜の葉をくべる姿を想い出すことかと思われま

す。また、子供が三才までに愛宕神社にお参りすると火難を免れると言われています。私が愛宕神社に参拝したのは年末の雪が山頂では白く残っていた正月の二日、数ある登山道のうち清滝バス停から清滝川に架かる渡猿橋を渡った愛宕山参詣表参道にある二の鳥居から登り始めました。

一の鳥居のある鳥居



本は、かつては、愛宕詣の門前町として栄え、むしこ窓・京格子・ぱったり床凡の町家風建物や茅葺きの建物が建ち並び「嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区」に指定され古都の風情が残されています。この一の鳥居から山頂まで五十丁に区切られ一丁ごとにお地蔵さんがおられます。当日は参拝の人も多く、特に年少の子の両手を引いた

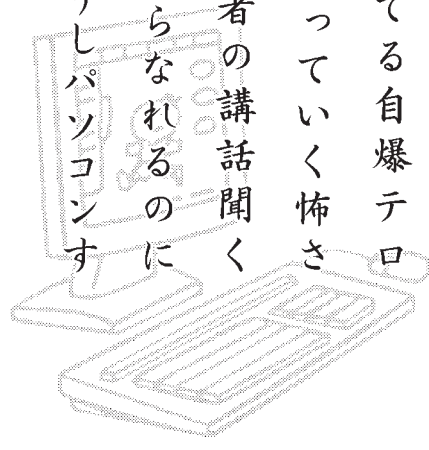
愛宕神社の開祖(当初は寺院)は泰澄で、大宝年間(七〇一〜七〇三)に役小角と共に神廟を造立した。天応元年(七八一)慶俊僧都が光仁帝の勅命により中興し、五千坊が営まれていた。応仁の乱で焼亡し、細川勝元が再興した。明治三年廃仏毀釈によって、仏寺を改め、主神を火産靈神として神社とされた。時は今雨が下しる五月哉

川柳

編集委員

有田 行雄

捨身の意はき違えてる自爆テロ
びっくりが普段になつていく怖さ
禁煙が出来ない医者講話聞く
大富豪トランプでならなれるのに
母さんは夜なべのふりしパソコンす



京税協・大同 チャリティーゴルフコンペ

開催日 平成16年4月8日(木)
場所 グランパール京都ゴルフ倶楽部
=奮ってご参加下さい=



勝運がつく

三室戸寺

編集委員 井上 玲子



この牛の、口の中の玉をなでながら祈ると勝運がつくと
言われています。

昔、富右衛門というお百姓
が、弱くて使い物にならない
牛をかわいがって飼っていま
した。ある日、富右衛門が三
室戸寺に観音詣でをしていた
ら、牛が丸い玉のようなもの
を吐き出しました。それから
牛はどんどん大きく強く成長
し、ついに闘牛で勝利し賞金
を手に入れました。富右衛門は、
その賞金をもとに牛の仲買人
として宇治一番の大金持ちに
なったのです。後に富右衛門
は、牛の木像を奉納して自ら
も仏門に入りました。この牛
の木像は、今も牛の像の胎内

に安置されていて、お参りす
る人にその勝運を授けてく
れているのです。

この宝勝牛にちなんだおも
しろい「牛の絵馬」がありま
す。一枚の絵馬が真ん中で分
かれるようになっていて、半
分は寺にかけておきますが、
半分はお守りとして持ち帰る
ことができます。絵馬にはあ
らかじめ願いごとを書いてあ
つて〇をつけるのですが、な
かには全部〇をつけている人
もいます。

またここには、「かぐや姫
守」というかわいらしいお守
りもあります。竹取物語に
「名を三室戸齋部の秋田を呼
びてつけさす」とあり、かぐ
や姫の名付け親がこの地にい
たらしいとのこと。このお守
りを身につけていると、良縁
に恵まれ、かぐや姫のような
可愛く愛される人になれるそ
うです。

花の季節にぜひ訪れてみて
下さい。

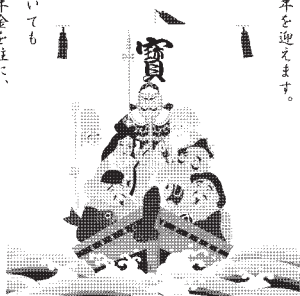
京阪宇治線「三室戸」駅よ
り東へ約1kmのところ三室
戸寺があります。西国三十三
カ所の第十番札所で、約一二
〇〇年前(宝亀元年)光
仁天皇の勅願により、三
室戸寺の奥、岩淵で出現
された千手観世音菩薩を
御本尊として創建されま
した。



全国税理士共栄会だより No.333 (2004年1月号)

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。迎えた新しい年、
2004年。本共栄会は創立30周年を迎えます。
本共栄会にとって、この30年は
まさに税理士業界と
関与先の繁栄とともに
歩んだ歴史でもありました。
温故知新。
その言葉の通り、私どもは
この歴史に学び、
それを教訓として、新しい年においても
VIP大型総合保障制度と全税共栄金を柱に、
皆様の「暮らしと事業」に役立つ諸事業を例年に増して
積極果敢に推進したいと考えております。
皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

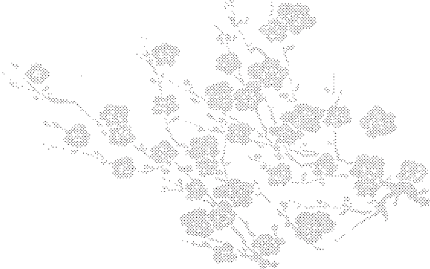


平成16年元旦
全国税理士共栄会
会長 惣潤和子 他役員一同

俳句

初詣で奇羅々の帯の母娘連れ
春うれし蹲踞の水も輝きて
様々の頭蠢く初天神
燈籠に交はす寒紅梅一輪
嚴寒に耐へて輪廻の芽拵へ

園部支所 樋口 益三





京の文学散歩
「古都」 川端康成

編集委員 上埜諭子

「古都」は川端康成が昭和三十六年十月九日から三十七年一月二十七日まで百七回の連載で朝日新聞に掲載した作品です。挿し絵は小磯良平氏です。

この時期の川端は「古都」を執筆の前から眠り薬の濫用がはなはだしく、書きながら服用し、うつつない、ありさまで書いたと言われています。心身共に、一種の危機に立っていたらしいです。小説「古都」を川端は「私の異常な所産」と言っています。題材そのものが、川端の別の作品「眠れる美女」や「片腕」の様に異常なわけではないのですが…。

作者が精神の異常を意識すればするほどに、私にはこの小説はその反対側を捉えているように感じられます。この小説のヒロインの千重子は「真っ直ぐに、きれいに立って」いる娘です。北山杉のようです。

十代の頃読んだ私の記憶では、「古都」は京都を舞台とした美しい双子の姉妹が別々



北山杉の里

に育ち、別々に生きるより仕方のない運命。しかし、今再び読み返してみると、それは美しい姉妹の小説と言うよりも、京都の年中行事絵巻、京都各地の名所案内をも兼ね備えています。そして、もしかしたらその方に重きが置かれているようにさえ読みとれ、どちらが主で、どちらが従か、よく分からない気がしてきました。

全九章は、「春の花」「尼寺と各子」「きもの町」「春と北山杉」「祇園祭」は夏、「秋の色」「松のみどり」「秋深い姉妹」は秋、「秋深い姉妹」の終わりから「冬の花」は冬です。そして年中行事としての葵祭、祇園祭、時代祭等が書かれ、名所としては平安神宮、嵯峨野、西陣、北山杉、円山公園等の多くが書かれています。

そして、今回は「北山杉」の章で、千重子が、友達の真砂子に誘われて行く三尾の里から「冬の花」の章の千重子と苗子が生まれ、苗子が育った北山杉の里を訪れてみます。

若狭に抜ける周山街道の御経坂の峠を過ぎると、やがて高尾の里へ。「三尾の里」と言われる高尾、横尾、梅尾には、里ごとに古刹があります。峠から十分ほどで、「高尾山神護寺」の古い道標が見えてきます。そのそばには、百六十年の昔から街道沿いに続く古い茶店があり、楓が山の斜面をおおい、山里のけいはい濃くなってきます。秋には、影まで燃えるような色に染まるといわれる紅葉の名所です。秋の名残の日差しを水面に映す清滝川を渡ると、神護寺へ登る、乱れ積みの石段のはじまりです。苔を踏み、散り敷いた落ち葉を踏み分けて歩くこの参道。冷気が体を吹きぬけ、思わず心がひきしまります。



西明寺鐘つき堂

三百数十段の石段を登り詰めると古い山門、山里の古刹にびつたりと門構えです。唐から帰ったばかりの空海が庵をむすんだ寺で、今も高野山真言宗別格本山です。この寺で名高いのは金堂の薬師如来像です。

高尾の西明寺へは清滝川を五分ほど上流に行けば、夏は蛍が飛ぶ、清流沿いの小道です。西明寺は徳川五代将軍綱吉の生母、桂昌院が帰依したお寺です。生まれ故郷の都を遠く離れ、江戸で半生を暮らした彼女のふるさと恋し、の思いが、境内の古びた鐘つき堂の鐘の音に込められている



北山杉

「古都」のなかで、この北山杉の村の情景は四回も出てきます。春には枝打ちして、梢に近い部分だけを丸く残してあとの不要な枝は払い落とす。

かのように、暮れなずむ山里深く、こだましていくようです。



康成の碑

道はやがて上り坂で、白雲橋を渡ると梅尾の高山寺にでます。約八百年前、明恵上人が開き、石水院(国宝)が有名な古刹です。ここには鳥羽僧正の「鳥獣戯画」の複製があります。



姉妹の像

そして、皮をむいた真っ直ぐな幹の白い膚が、頂の緑とともに鮮やかな景色です。ここで、真砂子が千重子にそっくりな娘をみつけるのです。

高尾、杉坂を経て、北山杉資料館があります。ここには、川端康成の作品「古都」の一章を刻んだ碑があります。昭和四十七年十一月地元の有力量者の手によって北山グリーンガーデンの奥庭に建立されました。

全く違う環境に育ちながら、それでも、心の中の魂が呼び合うように出会ってしまった二人、北山杉の里へ苗子に会いに行った時の千重子、千重子の元へ夜中に泊まりに行き、朝が明けぬうちに帰っていく苗子。

二度と出会うことのないであろう姉妹の運命に思いを寄せ、古く昔むした像を見つめるばかりです。

周山街道も梅ヶ畑まではいると、北山杉の林が、ぼちぼちみえはじめますが、中川あたりほどの美林ではなくて若木がおおいです。きりりと立った幹はそれだけで美しいです。千重子と苗子の生き方を象徴するような北山杉…。

その梅ヶ畑の奥殿、緑にうずまいたような集落の学校の前から、国道と別れ旧道が谷を登っています。五百メートルもあるくと、ゆるやかな峠の中程で、元の国道と合流するのですが、不思議と心惹かれる道です。